

2021年度第2回 Jミルク事業推進における事業協力者関連事業

事業No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な価値	企画にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	メディア・関係者向け栄養価値等広報資料の作成	牛乳乳製品の価値情報をメディアに対し広報するため資料を作成し広報を行う	<p>メディア向けに牛乳・乳製品の科学的エビデンスや学校給食用牛乳の役割などの価値情報をメディアに分かりやすく伝え、牛乳・乳製品を新たに食事に取り入れることなどの記事掲載を促進するための資料を作成する。なお、特にコロナ禍におけるニューノーマル時代の対応における食生活課題に対して牛乳乳製品が貢献するものとし、具体的な生活場面での利用方法などの提案も盛り込んだ資料とする。作成した資料は関係メディアに配信するほか、Jミルクウェブサイトで公開する。作成する資料は、冊子体で年間2回(各20ページ想定)、の他、よりわかりやすく要約したリライト版を各制作する。</p> <p>企画にあたってはこれまでの実績を参考にすること。 https://www.j-milk.jp/report/study/factbook_index.htmlファクトブック参照</p>	4月～3月	メディア・酪農乳業関係者	消費者が関心ある話題を踏まえ、牛乳・乳製品のエビデンスを有効活用したメディア発信	タイムリーなテーマの設定	5,000
2	世界の酪農乳業のトレンドを広報するための資料制作	国際 Dairy レポートの制作発送	<p>世界の日本に先駆けるトレンド(例えば持続可能性、植物性代替食品、フードテック)の海外の乳にかかわる生産、処理、販売、商品の選択傾向、社会動向や酪農乳業等の国際組織の活動状況をリサーチ・分析、翻訳し、世界のトレンドを取り入れた新たな需要に応える新商品開発や販売戦略などに役立つ資料として酪農乳業関係者に提供する資料を制作する。(年4回)</p> <p>なお事業は①情報の収集②翻訳③データ制作・印刷(300部)・配布で構成し、①②③それぞれ単独での応募も可能とする。 https://www.j-milk.jp/report/international/index.html 国際 Dairy レポート参照</p>	4月～3月	酪農乳業関係者	世界の動向を的確にリサーチする	<p>国内酪農乳業関係者に役立つ最新のわかりやすい海外情報を提供する</p> <p>②翻訳と③制作など、事業の一部のみの応募を可とする。この場合、事前に事業担当者を確認すること。</p>	9,500